

ベトナム経済、税政策に揺れる 2025 年の展望

2025 年 4 月 25 日 作成

カテゴリー ベトナム一般概況 経済

ベトナム経済、税政策に揺れる 2025 年の展望

2025 年第 1 四半期、ベトナム経済は GDP 成長率 6.93%と 6 年ぶりの高水準を記録した。加工製造業とサービス業が主な成長源で、農業も 7 年ぶりに回復。輸出入総額は 2022.5 億ドルに達し、FDI は前年同期比 34.7%増、消費も堅調に推移した。政策面では機構改革と行政区再編が進行し、米国の対中税制に対応するための税率調整や市場多様化策も講じられた。

ただし、米国の対ベトナム制裁的な税率（最大 46%）が経済に深刻な影響を及ぼすリスクが高まっている。これにより、FDI 減少、輸出鈍化、インフレ圧力、企業の資金繰り悪化、債務不履行リスクなどが顕在化。また、民間投資と不動産・債券市場の回復は不十分で、企業の休廃業も増加傾向にある。

BIDV 研究所は 3 つの成長シナリオを提示。基本シナリオでは成長率 6.5～7%、最悪では 5.5%程度にとどまると予測する。CPI は 4～4.5%上昇と予想される。研究所は米国との通商交渉強化、FTA 活用、市場多様化、制度改革、投資環境の改善などを提言しており、経済の自立性強化と新たな成長源確保が急務とされる。

以上